

令和七年度

入学者選抜学力検査問題

国

語

（現代の国語、言語文化）

〔注 意〕

- 一、監督者の指示があるまで、この冊子を開いてはいけません。
- 二、解答用紙のすべてのページに受験番号と志望の専攻を必ず記入しなさい。
- 三、この冊子の問題は、10ページからなっています。落丁・乱丁及び印刷不鮮明な箇所等があれば、すぐ申し出なさい。
- 四、解答は必ず別紙解答用紙の指定された場所に縦書きで記入しなさい。
- 五、解答用紙は持ち帰ってはいけません。
- 六、この冊子は持ち帰ってください。

近年、子どもの施設や学校から出る音について、周辺の地域住民から苦情が寄せられる例が報道されるようになった。そこで、インタビューをしたところ、左のふきだしのような意見が集まった。こうした音の問題について、どのような解決方法があるか、あなたの主張を述べよ。次の①から④の指示に従って四五〇字以内で書け。（採点は、題意の理解・着想・論理展開・表現・分量などについて行う。）

- ① インタビュー意見を参考に、意見の対立や現状を整理し、考えられる背景を述べること。
- ② あなたの主張を支える適切な理由を述べること。
- ③ 問題文に書かれていない設定を必要に応じて付け足してもよい。
- ④ 適切に段落を分けること。段落分けによって生じた空白は文字数に含めるものとする。

Aさん

夜勤明けで日中寝ている時に、近所の学校から聞こえてくる子どもの声がうるさいと、とてもつらい。

Bさん

電車内で自分の子どもが泣いたりすると、周囲に迷惑をかけていないかと不安になってしまう。でも、すぐに泣き止まない時もある。

Cさん

私の場合、小学校に通学中の子どもがいるので、学校からの音はうるさいと感じない。

Dさん

子どもの声は騒音なのかどうか、国や自治体が決めたらよいと思う。そうすれば、皆、納得する。

Eさん

うるさいのは、子どもの施設や学校からの音だけじゃない。近所から聞こえてくる除夜の鐘や盆踊りの音も、とてもうるさい。

Fさん

最近は、不寛容な社会になりすぎている。すぐに警察に通報したり、SNSに不満を書き込んだりする人もいるらしい。

二

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

著作権の関係上、掲載できません。

著作権の関係上、掲載できません。

著作権の関係上、掲載できません。

著作権の関係上、掲載できません。

(松本元「愛は脳を活性化する」設問の都合上、本文を一部改めた。)

(注) ○担体——たんたい。吸着や触媒活性を示す物質を固定する土台となる物質のことを指す化学用語。キャリアとも言う。

問 一重傍線部(a)～(f)のカタカナを漢字に直せ。

問 一重傍線部(ア)～(エ)の漢字の読みを送りがなも含めてひらがなで書け。

問 三 点線部Aの品詞を答えよ。

問 四 傍線部①について、筆者が「感情」と対比しているものは何か。一字の言葉を つ抜き出せ。

問 五 傍線部②について、本文の子供と母親の具体例を用いて説明せよ。

問 六 傍線部③について、「日本人的な感性」とはどのような感性なのかを説明せよ。

問七 傍線部④について、なぜそのように言えるのか、「情」の語の意味を明らかにした上で理由を説明せよ。

問八 傍線部⑤について、「人としてなくてはならないもの」とは何で、それを失っているとはどのようなことなのか説明せよ。

問九 傍線部⑥について、「愛」が「価値表現」であるというのはどのようなことなのか説明せよ。

問一〇 この文章は『愛は脳を活性化する』という題名の本の一部である。筆者は「愛は脳を活性化する」という主張をどのように説明しているのか。次の①～③の条件を踏まえて述べよ。

- ① 一二〇字以内で書くこと。
- ② 次のキーワードを必ず用いること。(情、関係欲求、愛)
- ③ 本文を引用して書くこと。ただし引用部分は「」でくくって示すこと。

次の文章は、『源氏物語』賢木巻の一部である。病の重くなつた桐壺院(文中の「院」)は、見舞いに訪れた長男の朱雀帝(文中の「内裏」帝)に今後のことを遺言する。また別の日、見舞いに訪れた末の息子である皇太子(文中の「春宮」)、その母で桐壺院の後の藤壺宮(文中の「中宮」)、桐壺院の次男の光源氏(文中の「大将」)にも遺言を伝える。これを読んで、後の問いに答えよ。

(注1) 院の御悩み、神無月になりては、いと重くおはします。世の中に惜しみきこえぬ人なし。(注2) 内裏にも思し嘆きて行幸あり。弱き御心地にも、春宮の御ことを、かへすがへす聞こえさせたまひて、次には大将の御こと、^①「はべりつる世に変はらず、大小のことを隔てず、何ごとも御後見と思せ。齡のほどよりは、世をまつりごたむにも、をさをさ憚りあるまじうなむ見たまふる。必ず世の中たもつべき相ある人なり。さるによりて、わづらはしさに、親王にもなさず、ただ人にて、おほやけの御後見をせさせむと思ひたまへしなり。その心違へさせたまふな」と、あはれなる御遺言ども多かりけれど、女のまねぶべきことにしあらねば、この片はしだにかたはらいたし。帝も、いと悲しと思して、さらに違へきこえさすまじきよしを、かへすがへす聞こえさせたまふ。御容貌もいときよらに、ねびまさらせたまへるを、^②うれしく頼もしく見たてまつらせたまふ。限りあれば急ぎ帰らせたまふにも、^③なかなかなること多くなん。

(注7) 春宮も、一たびにと思しめしけれど、もの騒がしきにより、日をかへて渡らせたまへり。御年のほどよりは、大人びうつくしき御さまにて、恋しと思ひきこえさせたまひける積もりに、^④何心もなくうれしと思して見たてまつりたまふ御気色、いとあはれなり。^⑤中宮は涙に沈みたまへるを、見たてまつらせたまふも、さまざま御心乱れて思しめさる。よろづのことを聞こえ知らせたまへど、いとものはかなき御ほどなれば、うしろめたく悲しと見たてまつらせたまふ。大将にも、おほやけに仕うまつりたまふべき御心づかひ、^⑥この宮の御後見したまふべきことを、かへすがへすのたまはず。夜更けてぞ帰らせたまふ。残る人なく仕うまつりてののしるさま、行幸に劣るけぢめなし。^⑦飽かぬほどにて帰らせたまふを、いみじう思しめす。

(注) 1 院——桐壺院。帝の位を第一皇子に譲り、上皇(院)となつてゐる。

2 内裏——朱雀帝。桐壺院の第一皇子。この時の帝。

3 春宮——皇太子。後の冷泉帝。この時は五歳。父は表向きには桐壺院だが、その実は光源氏。母は藤壺宮。

4 大将——光源氏。桐壺院の第二皇子。春宮の後見役で、この時の官職は右近衛大将。

5 女のまねぶべきことにしあらねば、この片はしだにかたはらいたし——語り手の感慨。「政治関係のことは」女が口にすべきことではないので、このように少しお話しただけでさえ気がとがめる思いがします」の意。

6 限りあれば——滞在できる時間に限度があるので。

7 もの騒がしきにより——帝と春宮の移動が一緒になると、おおごとで騒がしくなりすぎるので。

8 何心もなく——ただもう無心に。無邪気に。

9 中宮——藤壺宮。桐壺院の後。春宮の母。

問一 傍線部(a)は旧暦十二か月のうち何月のことか、漢数字で答えよ。

問二 波線部(ア)(ウ)の本文中における意味を答えよ。

問三 傍線部①について、以下の問いに答えよ。

(1) 「つる」の品詞名、意味、活用形を答えよ。

(2) 「はべりつる世」とはどのような「世」のことか、主語が誰かを明らかにして答えよ。

問四 傍線部②について、以下の問いに答えよ。

(1) (A)誰が、(B)誰を、見ているのか、それぞれ文中の語句を抜き出して答えよ。

(2) (1)で答えた(A)が、(B)を「うれしく頼もしく見」ているのはなぜか、理由を説明せよ。

問五 傍線部③は、誰のことを指しているか、文中の語句を抜き出して答えよ。

問六 傍線部④を、「帰らせたまふ」「思しめす」の主語をそれぞれ明らかにして現代語訳せよ。

四

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

嘉興徐泰、幼喪父母、叔父隗養之、甚於所生。隗病、泰營侍、甚勤。是夜三更中、夢二人乗船持箱、上泰床頭、発箱、出簿書示曰、「汝叔応死。」泰即於夢中叩頭祈請良久、二人曰、「汝県有同名、姓名人上否。」泰思得語、二人云、「張隗、不姓徐。」二人云、「亦可強逼。」念汝能事叔父、当為汝活之。」遂不復見。泰覺、叔病乃差。

(注) 1 嘉興——現在の浙江省にある地名。

2 徐泰——人名。

3 隗——人名。徐隗。

4 所生——実の子。

5 營侍——看病し世話する。

6 三更——午前零時前後。

7 床——寝台。

8 簿書——帳簿。

9 叔——「叔父」に同じ。

『搜神記』

10 叩頭——額を地につける。

11 差——病気が治る。

問一 波線部(a)(b)の「於」はいずれも助字だが、文法的な働きが異なっている。本文中における文法的な働きについて、それぞれ違いがわかるように簡潔に説明せよ。

問二 夢の部分はどこからどこまでか。本文から最初と最後をそれぞれ五字ずつ抜きだせ。なお返り点と送り仮名、句読点は書かなくてよい。

問三 傍線部①の言葉から、「簿書」にはどのようなことが書かれていたと考えられるか、説明せよ。

問四 傍線部②のように「叩頭して祈請」したのはなぜか、その理由を説明せよ。

問五 傍線部③を全文ひらがな(現代仮名遣い)で書き下し文に直し、現代語訳せよ。

問六 傍線部④のように言ったのはなぜか、本文全体を踏まえて具体的に説明せよ。